

第5次三郷市総合計画後期基本計画等の策定に係る
ワークショップ結果報告書

令和6年度

令和7年2月

三郷市

1 ワークショップの目的

三郷市第5次総合計画後期基本計画等の策定にあたり、SDGsの普及啓発や市民と行政がともに三郷市のまちづくりを考える場を設け、計画策定の基礎資料とするためにワークショップを実施した。

2 開催概要

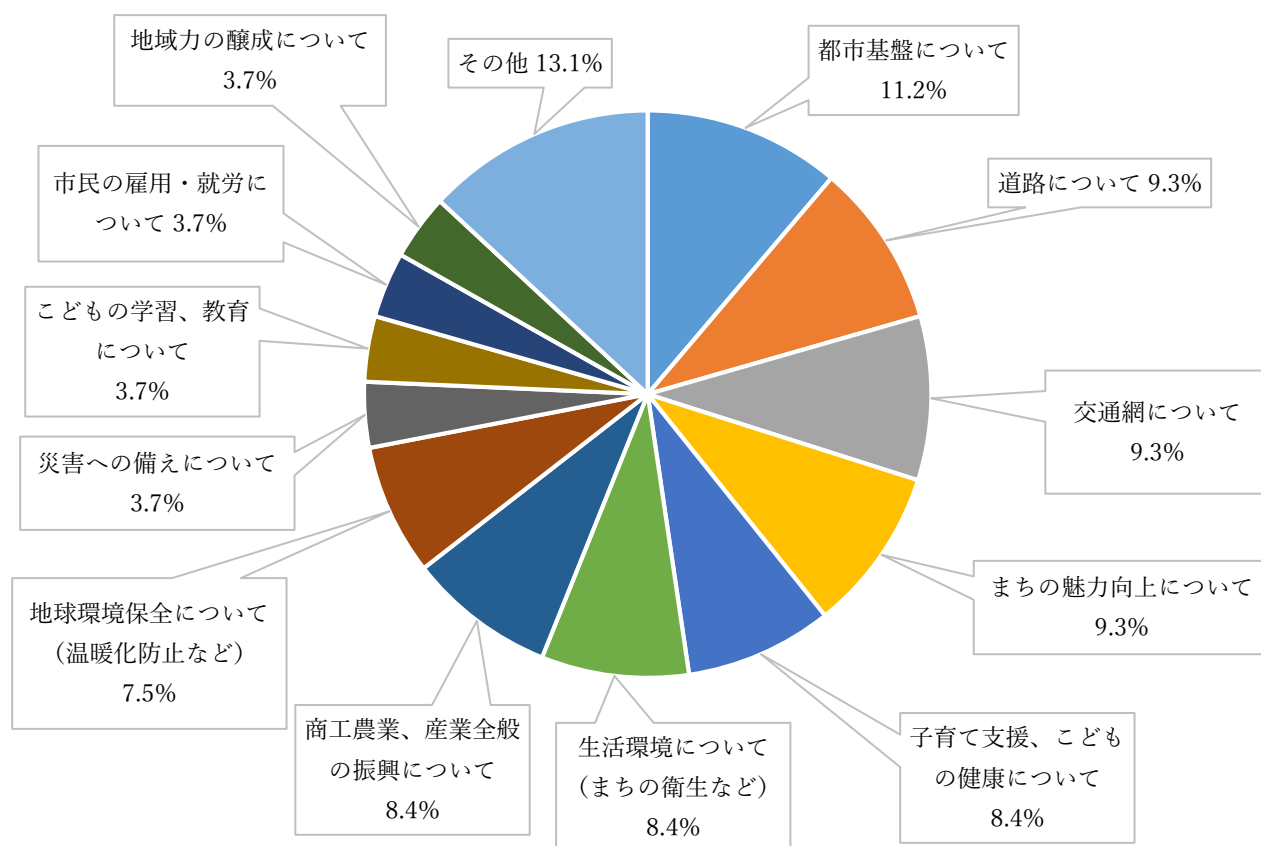
開催日時	令和7年2月2日（日） 第1部（一般）：10時00分～12時00分 第2部（中高生）：14時00分～17時00分
場所	三郷中央におどりプラザ3階会議室A
参加者	27名 内訳：第1部（一般）・・・14名（市内在住、在勤、在学の18歳以上） 第2部（中高生）・・・13名（市内在住または在学の中学生）
内容	①SDGsカードゲーム「SDGsババ抜きカードゲーム※」 ②まちづくりワークショップ（グループワーク）
プログラム	1. 開会 2. あいさつ 3. ワークショップの説明 （1）本日の目的（ゴール）と流れについて （2）SDGsについて （3）SDGsカードゲームについて 4. ワークショップ （1）SDGsカードゲームの実施 ・自己紹介とアイスブレイク ・ゲーム実施 （2）ワークショップ ①今の日本や三郷市の課題について ・参加者が個人でワークシートに書き出す ・グループ内で発表・共有 ②課題解決のための取組内容（市単位・市民単位） ・参加者が個人でワークシートに書き出す ・グループ内で発表・共有 ※第2部（中高生）については、グループワークを行い、課題の1位から3位までをランキング形式でとりまとめ、1位で挙げた課題に対して課題解決のための取組内容をまとめた。 5. インタビュー 6. 閉会

※お笑い芸人と学ぶ『SDGs ババ抜きカードゲーム』：<https://www.shoukasonjuku.com/sdgscardgame>

3 ワークショップ結果の概要

- ・「都市基盤について」11.2%、「道路について」9.3%、「交通網について」9.3%の順で多い結果となった。いずれもまちづくり方針4に該当する項目であり、都市基盤や交通インフラへの注目が高いことが見える。
- ・次に、「まちの魅力向上について」9.3%と多かった。まちへの愛着や魅力向上への注目度が高いことが見える。

課題・取組内容の傾向（107件に対する割合）



※ その他の意見として、「交通安全、防犯について」、「市の行財政基盤の強化について」、「水道について」等に関する意見があった。

4 資料

(1) 第1部 (一般)



(2) 第2部 (中高生)
①ワークショップの様子



②グループワークシート

○Aグループ

グループワーク用ワークシート A 班	
テーマ①三郷市の地域課題トップ3	
1位	道が不便 ・夜間暗い ・日暮り後信号が点滅しない ・自転車等横断道が狭い
2位	公共施設の老朽化 ・学校が古い ・児童館が古い
3位	環境保全が足りない ・川が汚れておらずない ・ゴミが散らかる
テーマ②地域課題の解決策	
選んだ課題	道が不便
解決策	(誰が・いつ・なにを・どうやって・やる) ①市 ・明かり、街灯を増やす ・道路の整備 (信号の見直し・自転車のレーン・2"歩道を4時間など) →施設の近く 減らす など ・電光告 <u>相手をない</u> →番号をいやす! ②自 ・白い物を身につける →反射板やライトも →2"きるようにほ"金

※ 赤字はファシリテーターによる補足

グループワーク用ワークシート B 班	
テーマ①三郷市の地域課題トップ3	
1位	交通整備
2位	川が汚い ゴミ
3位	ポイ捨て 公園 馬糞 ペットボトル
テーマ②地域課題の解決策	
選んだ課題	交通整備 信号機がない 歩道がない 道が狭い バスが少ない ミラーがない
解決策	(誰が・いつ・なにを・どうやって・やる) <市民> ・自転車のライトをつける&手持ちライト(暗い街灯がない所) ・停止線で止まる、ミラー見る習慣をつける <市> 交通集会を開く ・道のでこぼこを直す ・通学路に人を配置(狭い道) ・無理ならそこに<u>注意書き</u>のかんばん ・レンタルチャリを増やす(バスの少ない三郷へ新三郷) ・センサー街灯の設置(暗い道)

グループワーク用ワークシート		C 班
テーマ①三郷市の地域課題トップ3		
1位	給食の食べ残し	
2位	高校や大学への教育費の負担 片→教 10%	
3位	川の汚染・道路の整備	
テーマ②地域課題の解決策		
選んだ課題	給食の食べ残し	
解決策	(誰が・いつ・なにを・どうやって・やる) ・市が設けた期間に食べ残しを無くす キャンペーンを行う。 → 09/26日 ・ワークショップ 学年を表彰 でやる予定 → 食べる時間を増やす ・給食の準備の時間を決める(早める) ・給食センターへ定期的に意見をタブレットを使って送る → 調理方法の工夫 → 味つけ・量 etc. ・「ちや」とでも食べるの共通理解をもうける → 中学30何人?	